

科目名	身体障害治療学演習Ⅱ			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							2年 後期
【授業の目的・ねらい】 身体障害領域における作業療法を学ぶ。							
【実務者経験】 作業療法士として緑駿病院に勤務、身体障害領域の回復期から慢性期(神経難病含む)を中心にリハビリテーション業務に従事。また、地域の介護予防事業に参加。							
【授業全体の内容の概要】 疾患ごとに作業療法の方法論を理解する 前期に修得した身体障害治療学Ⅰとともに国家試験に頻出される疾患への作業療法を学ぶ。							
【授業終了時の達成課題(到達目標)】 解剖学生理学運動学と病態とのつながりと病態に関する医師ほかの関わりや各種治療法と作業療法との関連がわかる。							
回数	講義内容			準備物(教材)			
1	パーキンソン病			資料・PC プロジェクター			
2	パーキンソン病			資料・PC プロジェクター			
3	筋萎縮性側索硬化症			資料・PC プロジェクター			
4	筋萎縮性側索硬化症			資料・PC プロジェクター			
5	脊髄小脳変性症			資料・PC プロジェクター			
6	多発性硬化症			資料・PC プロジェクター			
7	失調症			資料・PC プロジェクター			
8	ギランバレー症候群			資料・PC プロジェクター			
9	多発性筋炎、皮膚筋炎			資料・PC プロジェクター			
10	筋ジストロフィー			資料・PC プロジェクター			
11	熱傷			資料・PC プロジェクター			
12	呼吸器疾患			資料・PC プロジェクター			
13	循環器疾患			資料・PC プロジェクター			
14	糖尿病			資料・PC プロジェクター			
15	悪性腫瘍(ターミナルケア含む)			資料・PC プロジェクター			
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ゴールドマスターシリーズ 身体障害作業療法学 メジカルビュー							
【準備学習・時間外学習】 2年次前期に修得した内科学、神経内科学、整形外科の各疾患の復習を事前に行っておくこと。また、講義終了後は重要なポイントなどを表や図などを使用してまとめておくこと							
【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期筆記試験を100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							